

# インターネットでのクレジットカード利用で注意すること

最近ではインターネット取引が身近になり、利用している人も増えています。インターネット取引の普及に伴い、「なりすまし」や「クレジットカードの不正利用」など、さまざまなトラブルも発生しています。

## ❗ インターネット上でのクレジットカード番号や個人情報入力時のポイント

### 利用するサイトのセキュリティを確認する

- クレジットカード番号やその他の個人情報の漏えい防止のため、情報入力送信の前に、利用するサイトが「SSL」の暗号化技術を採用しているかどうか確認してください。SSLを採用しているサイトでは、URLが「https://」に変わります。※SSL＝インターネット上で通信を暗号化する技術
- インターネット上で、より安全にクレジット決済を行うために、事前にクレジットカード会社のホームページで登録したパスワードなどを使用する「本人認証システム」を導入するクレジットカード会社が増えてきました。このようなしくみを利用すると「なりすまし」などの不正取引を防ぐことができます。



### 個人情報電子メールで通知することは避ける

- クレジットカード番号などの個人情報を電子メールで送信することは、セキュリティ上危険です。カード番号などの入力はセキュリティが確認された画面で行ってください。クレジットカード番号をインターネットで送信することが不安な場合は、電話やFAXで受け付けるところもありますので確認してみましょう。



### インターネットカフェなど不特定多数の人が利用するパソコンでは、重要な情報を入力しない

- パソコンには入力したデータを一時的に自動保存する機能があります。インターネットカフェなど不特定多数の人が利用するパソコンは、前に使っていた人が入力した情報を盗み見ることが可能です。このような場所では、重要な情報を入力しないようにしましょう。
- 不特定多数の人が使用するパソコンで、個人情報などの重要な情報を入力してしまった場合は、cookieの削除、キャッシュファイルの削除、オートコンプリート履歴の削除などを必ず行いましょう。Internet Explorerの「インターネットオプション」で設定可能です。

